

7日後に
消えてしまうキミは、
世界で一番輝いていた――

ハピネス

Happiness

窪塚愛流 蒔田彩珠
橋本愛 山崎まさよし 吉田羊

原作：嶽本野ばら「ハピネス」(小学館文庫刊)
監督：篠原哲雄 脚本：川崎いづみ

主題歌：三月のパンタシア「僕らの幸福論」(ソニー・ミュージックレーベルズ)
配給：バンダイナムコフィルムワークス
© 嶽本野ばら / 小学館 / 「ハピネス」製作委員会 (C) (R)

5.17 FRI ROADSHOW





「私ね、あと1週間で死んじゃうの」

恋人の告白からはじまった“ふたりの7日間”は、悲しいけれど、幸福に満ちたかけがえない奇跡だった——。残り少ない日々を命の限り輝かせようとする少女と、彼女の夢を支えようとする少年との純度100%のラブストーリーがここに誕生した。

余命1週間と告げられた由菜と、戸惑いながらも、彼女との幸せな日々をつくりあげることに協力する恋人・雪夫。逃れられない運命に対する絶望や悲しみを抱え込んだうえで、残りの人生を笑顔で幸せに過ごすことを選んだふたり。「下妻物語」の作者・嶽本野ばらによる同名小説を人間ドラマの名手・篠原哲雄監督が映画化。

主人公のふたりをドラマ「最高の教師 1年後、私は生徒に■された」、映画「愛のゆくえ」の窪塚愛流と、映画「朝が来る」、ドラマ「おかえりモネ」の蒔田彩珠が好演。雪夫の姉に橋本愛、由菜の両親に山崎まさよしと吉田羊ら実力派俳優が脇を固める。

自分らしく生きることがどれほど尊くて、ハッピーなことなのか。奇跡のような7日間の物語に、きっと誰もが“ハピネス”に包まれる——。

キミと出逢えたことは、奇跡



Story

出会いは、高校の美術室。好きな作家の画集や本の話をする…。そんな雪夫と由菜の日々は、「私ね、あと1週間で死んじゃうの」という由菜の告白によって一変する。彼女はすでに自分の運命を受け止め、最期の日々を“自分らしく生きる”ことを望んでいた。「あと1週間しか生きられないのなら、リスクを冒してでも楽しく毎日過ごしたい。そして雪夫と一緒にいたい」と。そんな思いを受け止めた雪夫は、戸惑いながらも残り少ない日々に寄り添う覚悟を決める。

由菜の母は、娘の「恋人と過ごしたい」と願う気持ちを尊重し、父は悲しみを隠し明るく振る舞う。一方、雪夫の姉は、弟の心を支え、そっと背中を押すのだった。

由菜にはやりたいことや夢がたくさんあった。憧れのロリータさんデビューをし、大好きなカレーを毎日食べる。そして雪夫と一緒に過ごし、キスして、お互いの温もりを感じ合いたい。

わずか17歳という若さで（死）という残酷な運命に向き合いながらも、愛する人とめぐり逢い、愛されることの喜びを知る。そんな“奇跡のような日々”を過ごしたふたりは間違いない“ハピネス”だった——。



窪塚愛流 蒔田彩珠
橋本愛 山崎まさよし 吉田羊

原作：嶽本野ばら「ハピネス」(小学館文庫刊)
監督：篠原哲雄 脚本：川崎いづみ

撮影：船崎直樹 照明：金子勇樹 美術：丸尾知行 装飾：山本直輝 録音：田中清志
編集：高橋敏史 スクリプター：田中小野 音楽担当：野藤昌利
メイク：中山真美 スタイル：宮本まこと 効果音：榎川孝隆 制作担当：豊嶋 晋
音楽：GEN 音楽プロデューサー：長崎行男 VFXプロデューサー：岡野正広
プロデューサー：鈴木 光 原田誠也 林田静也 ラインプロデューサー：宮下直也

製作：岡野 晋 沢辺伸哉 中村真樹 鈴木 光 小林宗太郎 家園義典
主題歌：三月的パンダ「僕らの幸福論」(ユニバーサルレコーズ)
制作プロデューサー：水野ひとみ(アークエンタテインメント) 配給：ソニーピクチャーズホームエンターテイメント
© 嶽本野ばら/小学館「ハピネス」製作委員会
公式サイト：happiness-movie.jp X & @：movie_happiness

5.17 FRI ROADSHOW